

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [熊本県立八代高等学校] 担当教諭名 [井上 博登] (2年希望者 30名)

相手国・地域 [メキシコ]

海外学校名 [CECyTEJ Campus Tonalá] 担当教諭名 [Alma Rubi Soto Paez]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な探究の時間	探究の問いと研究計画を立てる	10
	総合的な探究の時間	課題研究	20
	自主活動	放課後や休日の自主活動	26

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	環境問題の解決が伝統文化の保全につながる
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	絵の中央下にある環境問題(ゴミ問題等)を、日本のリサイクル技術やメキシコの緑化運動により解決し、豊かな環境(木々や花、食物等)を整える。それに伴って、日本の祭り(妙見祭等)や花火、メキシコの死者の祭りやマリアッチといった伝統文化を持続可能なものにするというメッセージを込めた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
参加者の「自文化や異文化を理解する力」と「協働的に学ぶ力」が100%に向上した。また、「課題解決能力」や「情報活用能力」、「グローバルな視点の獲得」、「探究的に学ぶ力」といった複数の能力も90%以上に向上した。	11月後半から12月に、定期考査や修学旅行等の学校行事が重なり、日本側の壁画の完成が約1ヶ月遅れた。英語のリスニングとスピーキング能力の向上も目指したが、十分な練習時間が確保できなかったこともあり、大きな伸びが見られなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
SDGsのゴールが自国だけではなく、世界共通のゴールであるという認識が強くなった。また、メキシコの環境問題の解決に日本が貢献できるのではないかと考えるようになった。逆に、伝統文化の保全については、メキシコの学校の取組が参考となり、若者が積極的に文化を継承する機会を設けることが必要であると考えるようになった。	他国の先生とコミュニケーションを図る中で、言葉の伝え方の難しさを感じるとともに、伝わったときの充実感を感じた。また、実際に生徒ミーティングを行う生徒の姿や、壁画を制作する生徒の姿を間近で見たり、変容調査によって生徒の力の伸びを確認したりする中で、他国の生徒と協働学習を行う機会が貴重かつ重要であることを学んだ。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	5月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回生徒ミーティング ・SDGsの11番と13番をもとにした共通の研究テーマの設定 ・夏のリサーチ活動 	オンライン上で自己紹介を行い、両校の参加目的を共有した。日本の課題を発表し、メキシコの生徒からの質疑に答える中で活動意欲を高めた。	探究10 自主8
共有 相手と意見交換	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回生徒ミーティング ・第3回生徒ミーティング ・フィールドワーク ・JAMボードでの意見交換 	両校の調査内容を発表する中で、メキシコでは人口が減少していないことや、ネット上で得た情報が実際には異なることがあるということを知り、驚くとともに学びとなった。	探究9 自主2
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果の報告会 ・フィールドワーク ・JAMボードでの意見交換 	これまでの学びを踏まえながら、メッセージ及び壁画の案を考えた。その案をメキシコの生徒と共有し、改善を行うことで、協働的な学びの重要性を認識した。	探究2 自主4
創造 壁画制作	12月 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本側の壁画制作活動 ・メキシコ側の壁画制作活動 ・探究成果発表会での発表 	メキシコの文化や建築物、環境等を考えながら、制作を進めた。成果発表会では、これまでに得た学びを聴衆に伝えることができた。	探究5 自主10
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・変容調査の実施 ・壁画の鑑賞会 ・振り返り 	メキシコから届いた壁画を鑑賞することで、改めて一年間の学びを振り返った。両校の想いが一つの作品となっていることに感銘を受けていた。	探究4 自主2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	変容調査の中で、アートマイルに参加した全ての生徒が、異文化を理解する力と自文化を理解する力が向上したと回答した。成果を発表する際に、自国と他国を比較する発表が多くあった。
主体的に考え行動する力	5	自分たちの調査目的に即したフィールドワークの場所を選定し、自らアポイントを取って調査を進めた。メキシコの生徒の質問に対して、調査結果を基にした自らの考えを伝えていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	祭りの後継者不足が若者の人口減少に起因していると考えていたが、メキシコの生徒と議論を重ねる中で、現在の若者が祭りに関わる機会を増やし、楽しめるような仕掛けが必要だと考えるようになった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	変容調査の中で、全ての生徒が、協働する力が向上したと回答した。しかし、JAMボード等で英文によるコミュニケーションは図れたが、スピーキング及びリスニングの能力向上は見られなかった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	2つのSDGsのゴールをどのように関連付けてメッセージを作成するかや、そのメッセージをどのように壁画で表現するかといった議論を重ねて、メキシコの生徒と一つの成果物を完成させた。